

笑顔で健康づくり

にこにこフィットネス

10月から11月にかけて、世代交流いきいきプラザと金ヶ瀬公民館を会場に、国民健康保険健康教室「にこにこフィットネス」が開催されました。

保健師などによる講話の後、運動指導士の先生と一緒に、音楽に合わせて1時間ほど簡単なフィットネスを行う内容で、各会場3回ずつ実施されました。

教室に参加した皆さんは、普段使わない筋肉を楽しく動かし、心地よい汗をかいていました。



▲ぐるぐる足こぎ。苦しくなっても笑顔で頑張ろう。

歌と手話で命の大切さを伝える

11月30日、大河原町小中学校父母教師会連絡協議会主催による「大河原町PTAセミナー」が、南小学校体育館で開催されました。

歌詞に込められた想いを手話で表現しながら歌うサインヴォーカリストの水戸真奈美さん（柴田町出身）を講師に迎え、「命の大切さ～共に生きることの素晴らしさ～」をテーマにした講演が行われました。

参加者は、熱心に耳を傾け「命の大切さ」について真剣に考えていました。

大河原町PTAセミナー



町民の声

おたより
ご紹介

東日本大震災の遺構を訪ねて

文化財友の会恒例の秋の研修が、11月12日に開催され、参加者32名で「気仙沼東日本大震災遺構伝承館と石巻大川小学校慰霊の旅」に参加しました。

最初の伝承館では、気仙沼向洋高校旧校舎である日、大津波をまともに受けて、周りの町並みは壊滅。4階建てコンクリート造りの校舎だけが無残な姿となつて残っただけという情景を目の前にして、自然の強大な力に驚くのみでした。しかしこれだけの被害であったが、先生・生徒は全員避難したとのこと。これは、「日頃の訓練と、情報を的確に掴みただちに避難行動を取ったことであつた」という語り部の話が強く印象に残りました。

震災で完全に孤立してしまった大島と気仙沼を結ぶ全国でも珍しい大型アーチ橋（297m）愛称「鶴亀大橋」を渡り昼食。食事中、旅館の女将から、大震災と津波に襲われた時と、復旧の大変なことの貴重な体験を聞くことが出来た。

大川小学校跡地では、バスを降りて、すぐ目についた校舎裏手の山があまりにも近いのに茫然としてしまった。「なぜこの山に逃げなかつたのか」という無念さがよぎりました。慰霊碑に花束と線香を手向け全員で合掌。私にとりまして、これらの体験談と教訓を学ぶ貴重な一日でした。

鶴亀 金時さん（小島区）

えずこホール イベント案内

えずこ寄席 2020 『柳家さん喬 独演会』

完売必至!! 正統派落語の最高峰、滑らかな語り口でお客様を魅了する柳家さん喬の落語は、初めて落語を聴く方にもお勧め!! この機会にぜひ、さん喬の話芸をたっぷり味わってたくさん笑ってください。



2020/2/15[土]
14:00開演 平土間ホール
TICKET 全席指定 3,000円

えずこホールで活動する 各種 住民創造グループ メンバー募集!!



ヴァイオリン&チェロアカデミー

えずこホールを拠点に活動する、5つの音楽団体やボランティア、劇団でメンバーを募集しています。何か新しいことに挑戦してみたい! 日常生活に、少し変わった刺激を! そんな方はぜひ一度見学に来てみてください。

- 【募集团体】
- ♪吹奏楽
 - ♪ゴスペル
 - ♪男声合唱団
 - ♪ヴァイオリン & チェロ合奏コース
 - ♪ギター合奏
 - ☆ホールボランティア
 - ☆託児ボランティア
 - 住民劇団



えずこウインドアンサンブル

みんなあいてよ えずっこひろば ～親子で楽しむ遊びの場所～

1/22[水]
10:00～12:00
■参加：無料
■会場：練習室1
(出入り自由/申し込みの必要はありません。)



今月はカワイイカードを作るよ!

お問い合わせ TEL 0224-52-3004

info@ezuko.com
URL http://www.ezuko.com/

えずこホール
仙南芸術文化センター

〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1



学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします



「地域を支える力に」



今年度大河原中学校は、ボランティア活動に積極的に取り組んでいます。10月の台風19号の後には、3年生の生徒約20名が放課後に白石川の河川敷の清掃活動を行いました。また、11月23日(土)に行われた大河原クロスカントリー大会では、17名の生徒が大会を支えるボランティアスタッフとして参加し、受付や給水の役割を引き受け、大会を支えました。さらに、12月7日(土)には、社会福祉協議会のクリスマスオープンカフェに吹奏楽部と科学部が参加し、演奏とサイエンスショーを行いました。

どの活動に参加した生徒達も、終わった後に満足感のある笑顔を見せていました。12月からは、地域防災を支えるボランティア活動も始動しています。地域を支える一員として、中学生にできることを考え、積極的に地域に参画していきたいと思えます。



暗唱大好き

「共に高め合う」

毎週1回の朝の取組、暗唱活動。生徒からは「寿限無」の名で親しまれています。

2学年では、統一した題目を決めてそれぞれに暗唱に取り組み、後半に数人の代表が発表をする形式で進めています。代表は学級委員による抽選で決まるのですが、代表となる単位は生活班、専門委員会、部活動など様々です。誰に発表が当たるかも楽しみの一つです。

この日は、生活班の4班に発表が当たりました。声をそろえ、息の合った発表をするには一人一人が暗唱できていることが前提になります。教室は一瞬緊張の空気に包まれました。不安気に見える生徒もいましたが、発



表が終わると教室全体が温かな拍手に包まれました。無事に発表を終えた生徒達にも安堵の表情が広がり、笑顔が見られました。

お互いに刺激し合うことで、暗唱にも自ずと熱が入ります。互いに高め合って残りの期間も暗唱に励んでいってくださることを願っています。

